

令和3年度事業計画書

公益財団法人 鍋島報効会

(公益目的事業)

1. 徴古館（登録博物館）の運営

1) 展示公開事業

a. 企画展

旧佐賀藩主・侯爵鍋島家伝来の当会所蔵資料を紹介する展覧会を3期開催し、うち1回は佐賀市と共催で「佐賀城下ひなまつり」を開催する。開館日数は年度で157日間。

令和3年度
展覧展(予定)

第97回展「伝来品でたどる鍋島家の歴史①」(仮称)
令和3年7月26日(月)～10月2日(土)【開館:56日間】

第98回展「伝来品でたどる鍋島家の歴史②」(仮称)
令和3年10月25日(月)～12月25日(土)【開館:52日間】

第99回展「鍋島家の雛祭り」
令和4年2月11日(火)～3月31日(火)【開館:49日間】

第21回佐賀城下ひなまつりのメイン会場として、例年通り鍋島家伝来の雛飾りの展示を行う。

b. 講演会

主に展示のテーマ(歴史・文化など)に即した内容で、県民(県外もあり)を対象に実施する。

c. イベント

展示開催中に多目的ホールなどを活用し、プレイエル小音楽会のほか、茶道・箏曲・茶花、香道など和の文化を紹介するイベントを実施する。

2) 調査研究事業

博物館としての本来の調査研究活動を継続しつつ、以下の活動を実施する。

a. 調査研究活動

当会が収蔵する佐賀藩主・侯爵鍋島家伝来資料を調査研究するとともに、その成果を展示や体験活動へ反映させる。

b. 歴史・文化体験活動

当会所蔵の歴史資料を用いたまち歩き(城下探訪会)を実施し、佐賀の歴史・文化を学ぶ機会を設ける。また収蔵資料のうち鍋島直正公が長女貢姫に宛てた書簡について市報「さが」に毎月連載することで市民への啓発普及を図る。

3) 収蔵保存事業

収蔵資料をより良き状態で保ち後世に伝えるため、収蔵庫内は温湿度管理のため年間を通じてほぼ常時空調を実施する。近年の大雨浸水対策として収蔵資料の保管方法を改良し、また転落防止などの措置を講じる。寄贈などの新規受け入れ資料の殺虫処理等を行い資料および収蔵施設内環境の保全に努める。

4) 施設貸与及び保全

佐賀県内の自然や歴史・文化等の研究や啓発活動を行っている団体に対し、研究発表や講演会等の会場として多目的ホールを貸与する。国の登録有形文化財でもある徴古館の建物自体を良好な状態で維持管理し、博物館事業を継続させる。

2. 史跡等の保存事業及び顕彰事業

佐賀県及び旧佐賀藩主鍋島家にゆかりのある史跡や文化財等を保存し維持することにより、県民の歴史にふれる機会を高める。当会所有の鍋島家春日御墓所、十可亭跡公園、高伝寺御墓所及び御位牌所、鍋島直茂生誕地・胞衣塚、築地反射炉跡記念碑、万部塔と六地藏、弘道館記念碑はもちろん、鍋島家ゆかりの墓所(善応庵)他についても必要に応じて維持保存に努める。

3. 研究助成事業

郷土佐賀の充実発展に寄与するため、歴史・文化・自然等分野を問わず「佐賀」に関する研究に対し助成を行う。今年度は下記3件に総額71万円の助成を行う。また昨年度の助成授与者による研究成果報告会を今年度開催するとともに、2ヵ年分をまとめた研究報告書を今年度発行し、広く県民に公表する。

令和3年度助成予定者（研究テーマ）

丸島 和洋	佐賀藩士深江氏旧蔵文書の復元による「家意識」の検討
中西 義昌	東肥前から見た戦国期筑紫氏の研究 —文献・城郭史研究の観点から
野下 俊樹 他4名	中世後期有明海沿岸地域の学際的研究 —佐賀平野の構造的特質

4. 一般助成事業

当会の定款に記載の目的・事業内容に合致する活動を行っている団体に対し助成する。今年度は下記8団体に、総額156万円を助成する。

令和3年度助成予定団体

歴史	松浦党研究連合会
教育	公益財団法人佐賀育英会 佐賀県中学校体育連盟 佐賀県空手道連盟
文化	佐賀美術協会
自然	佐賀植物友の会 佐賀自然史研究会
その他	佐賀ん町屋ば甦らす会

5. 公益目的活動の活性化に資する事業

既存事業のほか、公益目的活動のデジタル化・リモート化及びそれに係る調査など、佐賀県下における文化及び教育の振興を図りながら、世代を超えて社会貢献に資する事業を展開する。

（収益事業）

1. 不動産賃貸等に関する事業

基本財産の土地及び建物を活用し、貸地、貸家及び駐車場等の事業を行い、その収益を公益目的事業会計へ繰入れることにより、公益活動の財源とする。駐車場の区画の明確化などの環境整備を行うとともに、引き続き各問題案件の解決及び跡地の利活用を図る。

特に、松原公園第2期工事については、事業実現に向けて佐賀市と協力関係を保ち、土地及び資金の運用についてもこの計画を考慮した方策を検討する。